

*米国本社リリース参考訳

*公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2021/22 事業年度 第1四半期(7-9 月期)業績

第1四半期米国会計基準：純売上高5%増、希薄化後1株当たり純利益は1%減少の1.61ドル

第1四半期中核業績：本源的売上高4%増、1株当たり中核利益は1%減少の1.61ドル

2022 事業年度通期の見通しを維持

2021年10月19日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2022 事業年度第1四半期の純売上高が、前年同期と比べ5%増の203億ドルであったと発表しました。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、4%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、前年同期に対し1%減少して1.61ドルになりました。

第1四半期の営業活動によるキャッシュフローは46億ドルになり、調整済フリーキャッシュフロー生産性は92%でした。当社は、20億ドルの配当金、約30億ドルの自社普通株式の買い戻しにより、合計50億ドル近くを株主の皆様に戻元しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第1四半期(7-9月期)							
米国会計基準	2022年度	2021年度	%増減	会計基準外*	2022年度	2021年度	%増減
純売上高	\$20.3	\$19.3	5%	本源的売上高	—	—	4%
希薄化後1株当たり利益	\$1.61	\$1.63	-1%	1株当たり中核利益	\$1.61	\$1.63	-1%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)デビッド・テイラーは、「当社は当四半期も、大変なコストとビジネスの環境下において手堅く業績を達成しました。これらの業績を通して、当社の売上高、利益、キャッシュの目標の達成に向けて、順調に推移しています。当社は、製品の優位性、生産性の向上、建設的な中断、継続的なP & Gの組織と企業文化の革新を続けるという戦略の実行に、引き続き焦点をあてていきます。これらの戦略を通じて、コロナ禍以前のビジネス成長の勢いを築くとともに、この危機の中、道しるべとなって更に成長を加速させ、現在も引き続きバランスの取れた成長を達成し、付加価値を生み出すことができている」と述べています。

7-9 月期について

2022 事業年度第1四半期の純売上高は、前年同期比5%増の203億ドルでした。有利な為替レートは当四半期の売上高の増加に1%寄与しました。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、販売数量による2%増、価格設定の見直しによる1%増、ならびに、有利なミックスによる1%増の恩恵を受け、4%増加しました。販売数量の増加は、優れた製品と製品革新に対する消費者需要の高まりによりもたらされ、流通在庫の再積み上げにより、いくつかの市場で前年同期の販売数量が増加した反

動で一部相殺されました。有利な製品ミックスは、全体の平均販売単価よりも高い北米地域、ヘルスケア事業セグメントとプレミアム製品でのより高い成長により、けん引されました。

2021年7-9月期	販売	為替	価格			純売上高	本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)		販売量	売上高
ビューティー事業	—%	3%	2%	—%	—%	5%	—%	2%
グルーミング事業	1%	1%	2%	2%	—1%	5%	1%	4%
ヘルスケア事業	3%	1%	1%	3%	—%	8%	3%	7%
ファブリック& ホームケア事業	2%	1%	2%	1%	—1%	5%	2%	5%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	1%	1%	—1%	2%	—%	3%	1%	2%
P & G 全体	2%	1%	1%	1%	—%	5%	2%	4%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ2%成長しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、価格改定、ならびに、トリートメントとコンディショナーにおけるプレミアムな製品革新により、一桁台前半の増加となりました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、主として、価格改定と販売数量の増加が寄与し、不利な地域ミックスで一部相殺されて、一桁台前半の成長でした。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ4%増加しました。カミソリ・替刃部門の本源的売上高は、価格改定とプレミアムな製品革新による有利な製品ミックスにより、一桁台半ばの増加となりました。電化製品部門の本源的売上高は、一桁台半ばの減少となりました。これは、有利なミックスによりもたらされたものの、前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大に関連して消費が拡大して売上が増加した反動で、当四半期の販売数量が減少したことを理由としています。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ7%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、有利な地域ミックスとプレミアム製品ミックスが寄与し、販売数量のわずかな減少で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主として、呼吸器用製品市場の回復、製品革新、ならびに、いくつかの市場での価格改定により、二桁台の増加となりました。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ5%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、製品革新、価格改定、ならびに、北米地域とプレミアム製品での不均衡な成長によりもたらされた有利なミックスにより、一桁台後半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、主に価格改定が寄与し、前年同期に北米で新型コロナウイルス感染症拡大に関連して消費が拡大した反動で、当四半期の売上が減少したことで一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ2%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、プレミアムラインのパンツタイプとテープタイプの紙おむつ製品の成長による有利な製品ミックス、価格改定、ならびに、製品革新に起因する販売数量の増加により、一桁台半ばの増加となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、主として、製品革新、価格改定、ならびに、ミックスにより、一桁台半ばの増加となりました。有利なミックスは、北米地域とプレミアム製品でのより高い成長によりもたらされました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、一桁台半ばの減少となりました。販売数量は増加したものの、前年同期に過去に例がないほど減少した販売促進活動の反動で、当四半期の販売促進活動が増加したことと大型サイズを理由とした不利なミックスの悪影響がそれを上回ったことを理由としています。

2022 事業年度通期の見通し

P & Gは引き続き、2022 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比2~4%の範囲で増加すると見込んでいます。現在、為替レートは売上高成長率に影響がないものと予想されます。当社は、本源的売上高も2~4%の範囲で増加すると見込んでいます。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約70カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ<https://us.pg.com> (英語)をご参照ください。